

## 桧木内川堤公園

桧木内川堤公園は桧木内川のほとりにあります。春には、川岸沿いに全長2キロメートルの桜並木が繊細な花を咲かせます。

桧木内川の水源は、秋田県北部の高崎自然の森にあります。川はそこから南方の角館に向かって流れ、町の西側に沿って蛇行してから玉川と合流します。

公園の桜の木は、1933年12月23日の明仁天皇の誕生を記念して、1934年春に植えられました。2キロメートルにわたって並ぶ約400本の桜は、長年の間に存続の危機に直面したものの、地域の人々の心のこもった世話によって守られ続けてきました。

1990年、桧木内川公園の非常に美しい景色は、武家屋敷通りの家々を彩るシダレザクラとともに、日本の「さくら名所100選」に数えられました。毎年花見の時期には、130万人が文化庁指定の国の名勝でもあるこの公園を訪れます。

公園の魅力は桜だけではありません。桧木内川の清く澄んだ水は、鮎釣りをする釣り人を引き寄せます。釣りには許可証が必要で、この許可証は多くの地元の店で購入できます。